

# 「米軍再編」の本質

## 日米軍事一体化と憲法の危機



キャンプ・シュワブ

沖縄県民をはじめ、多くの国民の反対、懸念を押し切って強行されようとしている「米軍再編」。  
実態を見れば、もはや米軍は「日本防衛」のためではなく、グローバルな軍事戦略のもとに、日本の基地を強化・再編し、自衛隊をもその中に組み込もうとしていることが分かります。普天間移転の名によって行われる、辺野古沿岸部への新基地建設は何のためなのか？「米軍再編」とはどのような構想なのか？そして、それが日本の将来に何をもたらすのか？沖縄から普天間基地を抱える宜野湾市長を迎え、「米軍再編」の本質に迫ります。

日時・会場

**6月10日(土)**

**午後1時半～5時**  
(午後1時開場)

**男女共同参画センター**  
(フォーラム南太田)  
**大研修室**(横浜市)

〒232-0006 横浜市南区南太田1-7-20

メインスピーカー

**伊波洋一**

(宜野湾市長)



**梅林宏道**

(ピースデポ)

**水島朝穂**

(早稲田大学教授)



- ▶横浜市営地下鉄・吉野町駅徒歩7分
- ▶京浜急行・南太田駅徒歩3分

資料代1000円  
(学生500円)  
承ります

**主催：憲法再生フォーラム (代表・辻井喬)**

連絡先 = 法政大学法学部資料室気付  
杉田敦研究室 (03-3262-7822FAX)